# 黒川中だより

https://tainai-kurokawa-jhs.edumap.jp/

**第４号**　令和８年７月24日発行　TEL 0254-47-2425

教育目標　「自ら学び　鍛え合おう　　心豊かに　たくましく」
目指す生徒像　「ふるさとを愛し、正しい心をもち、主体的に行動する生徒」


## ノスタルジー

校長　村田 健

令和８年度１学期が無事に終了いたしました。毎日、学習や部（クラブ）活動、家のお手伝いに取り組んだ生徒の皆さん、頑張りましたね。そして、その取組に寄り添い励ましてくださった保護者の皆様、ありがとうございました。また、地域の皆様からは、「シャングシャング馬」「全校奉仕作業」「燃水祭」と、中学生に活躍の場を提供していただきました。どの取組の後も、生徒や教職員に対して賛辞を頂戴したことは、本当に嬉しく思います。全校生徒で黒川の良さを感じ、それらを発信していくことが、目指す生徒像に近づく一歩だと考えます。

さて、明日からは「夏休み」です。これだけ長期間お休みがあるのは、学生に与えられた特権と言ってもいいでしょう。私自身、この職に就き30数回夏休みを迎えていますが、未だに終業式の午後はワクワク感で一杯になります。きっと、小学校１年生から就職するまでの16年間、夏休みにたくさんの思い出を作ったから、今年の夏休みも「きっと何か楽しいことがある、思い出が作れる」と脳が期待しているのかもしれません。

日本人がノスタルジアを感じる代表的な表象の一つとして、夏空の入道雲だそうです。私のような昭和の中学生も、その後の平成の中学生も夏休みの風景の一部として記憶に残っているのでしょう。令和の中学生は、あと何年したら夏空の入道雲を見てノスタルジーを感じられるのでしょう。先日、何度も見ているはずの胎内スキー場の景色に目を奪われてしまいました。空は青の一文字では表現できないくらいきれいな青空。山の樹木の力強い濃い緑とゲレンデの爽やかな緑のコントラスト。それらが相まってとても美しかったのです。そして、何か「懐かしい」という感情が沸き起こりました。これがノスタルジアを感じた瞬間だったと思います。車の中は自分だけの空間なので、フロントガラス越しの景色は自分だけのフレームに入った芸術品です。また、カーステ（死語？）のラジオから流れてくるシティポップや渋谷系を聴くと、時空を超えて走っている感じになります。

人間の五感というのは、その時の感情や情景をも感じ取り記憶として留めておいてくれるのだと思います。手持ち花火の火薬の匂いや夏の夕立ち時のアスファルトの匂いも、私にとってノスタルジーを感じるトリガーです。ノスタルジーに浸りすぎると悪影響も出るとのコメントを目にしたことがあります。何事も度を越してはいけないということでしょう。私は、ノスタルジーを感じることで心の癒しを得たり、忘れていた自分の原点を思い出させてくれたりする機会と捉えています。

中学生の皆さん、この夏休みにたくさんの思い出を作ってください。特別な思い出でなくてよいです。スイカの種飛ばしや庭先から見上げた星空など日常の一コマで構いません。他愛のないことの積み重ねが将来の宝物になります。そして、先日のキャリア教育講演会の開会の挨拶でも話をしましたが、少しずつ将来のことを考えていきましょう。考え始めるということが将来の夢や希望をもつということです。夏休みは親戚の方など多くの人と会う機会があります。様々な方と接することで、未来が見えてくることがあります。皆さんが将来（はたちのつどいや10年後）、何かのきっかけで今年の夏休みの一コマを思い出した時、ノスタルジーを感じてもらえたらと思います。令和の中学生は下の歌詞のアーティスト・タイトルを知っているかな？

♪君と夏の終わり　将来の夢　大きな希望　忘れない
10年後の８月　また出会えるのを　信じて　最高の思い出を…♪　では、素敵な夏休みを！

# キャリア教育講演会「違う景色を見に行こう～町と自分の再発見～」



コミュニティ・スクール８年目を迎えた黒川中学校は「繋（つなぐ）」をキーワードとして、学校・保護者・地域のつながりを大切にしながら子どもたちの教育活動に取り組んでいます。

コミュニティ・スクールの活動として、毎年「キャリア教育講演会」を行ってきました。今年度は、中条グランドホテルにお勤めで、多方面でもご活躍されている池田真一様を講師としてお招きし、7 月 13 日に講演会を開催することができました。

「違う景色を見に行こう～町と自分の再発見～」と題して、ご自身のこれまでのキャリアを踏まえた考えや思いを語っていただきました。また講演会後半には、「心に残るおもてなし」をテーマにマナー講習を実施していただきました。生徒は、普段体験できないこと、考えが及ばないことなど経験でき、自分の夢や将来について、真剣に考える貴重な機会となりました。

池田真一様からのメッセージ（一部紹介）

「誰かのため、笑顔のためにがんばると、自分も笑顔になれる」「自分が感じた違和感を大切にしてほしい」「うまくいかなかったことはたくさんあるけれど、今までやってきたことに無駄であったことは一つもない。道は全部繋がっている」

だから、みなさんには、一生懸命に様々なことに取り組んで、楽しんでほしい。



【生徒の振り返り（一部抜粋）】

将来、自分が大人になった時、相手に対する礼儀やマナーが、人と関わっていく中で、とても大切なことが分かりました。マナー講習をする中で、周囲に信頼される行動をとっていかないと信用されないことも分かりました。（1-1 平山拓歩さん）

どんなことに対しても、一生懸命することによって、やりがいが生まれたり、改善点を見つけたりできると分かった。その他にも、嘘をついてもいずれバレてしまい、自分に返ってくること。今後私は嘘をついたり、仕事をさぼったりしないようにしようと思いました。（2-1 田村祐真さん）

池田さんがおっしゃっていた「客観的視点」。私自身、人生で思いつきもしない言葉で、自分の人生の視界が広くなった気がしました。客観的視点で物事を見聞きし考えることや、今目の前のことに一生懸命取り組むこと、嘘をつかない・言い訳しないことなど、心に留め、これからの人生に生かしていきたいと思いました。（３-１榎本航さん）



# 伝統文化の継承①～着付け教室（1年生家庭科）～

６月 12 日（金）に、１年生で「着付け教室」を実施しました。伝統的な文化である和服。これからの暑い夏、そして黒川大祭、中条祭り等を迎えるにあたり、浴衣は欠かせないアイテムの１つ。少しでもその魅力を感じてほしい、自分で着用したり浴衣をきちんとたたんで片付けられるようになってほしいという願いから、地域の方を講師にお招きして、１年生家庭科の授業として行いました。生徒は目を輝かせながら、浴衣の着用に取り組んでいました。







# 伝統文化の継承②～黒川燃水祭(2,3年生総合的な学習の時間)～


カグマでの採油の様子

７月１日（水）黒川燃水祭が行われました。３年生は事前学習会の際、市教育委員会 生涯学習課の伊東崇様から「燃水祭の成り立ち等の歴史や価値」をテーマにご講演いただきました。改めて日本最古の油田が今もこの黒川に存在し、歴史的価値が高いことや、胎内市の誇る文化財であり、多くの方々からの支援で保存・語り継がれていることを深く知り考える機会となりました。

当日は２年生も加え、黒川燃水祭に参加しました。当時から続く儀式や献上行列を体験できたことは、生徒にとって大きな財産となりました。

【生徒の振り返り（一部抜粋）】

燃水祭に参加して、この行事はすごく昔からある行事であり、黒川は今もなお原油が灯る貴重な地域であることを再認識しました。また実際に献上行列に参加し歩いてみたら、距離が長くて大変でした。昔の人はこんなにも長い道のり（黒川-滋賀県）を歩き続けていたのだと、実感できて良かったです。黒川には、燃水祭はもちろん興味深い行事がまだまだたくさんあるので、いろいろな人に広めていきたいです。（3-１齋藤芹菜さん）

胎内市には、この地域にしかない魅力や伝統行事があることを知りました。黒川地区の人たちは、燃水祭など地元の行事を大切にしている思いが伝わってきました。献上行列に参加していた際、地域の方が「頑張って！ありがとう」と優しい言葉をかけてくれて嬉しかったです。（２-２髙橋凛音さん）


献上行列の様子


休憩所：黒川小学校にて

# 平和への願い～平和学習会(3年生道徳)＆「全校千羽鶴」～



７月 14 日（火）市内在住の西澤慶子様をお招きし、３年生が平和学習を行いました。西澤様からは、「原爆の被害実相や平和への願い」をご自分のご家族からの伝承に基づき、丁寧かつ詳細にご講演いただきました。生徒にとって、戦争の悲惨さと命の尊さについて深く考える機会となりました。西澤様のご講話のあと、原爆に関するパネルを拝見しました。多くの生徒が口々に「戦争の悲惨さ」を話す姿が見られました。また、私たちは次世代へ「平和」への思いを継承する義務があると話す姿も見られました。

【生徒の振り返り（一部抜粋）】

学んだことは、まだ自分が知らなかった戦争の悲惨さです。今までは表面上のことしか分からなかったのですが、今日、西澤さんの話を聞いて、被爆した方だけでなくその子ども（被爆二世）も苦しむ。また、戦争は命だけでなく、人としての優しさまで奪うものである。これが本当の戦争か…と身に染みて感じました。現在、ロシア-ウクライナや中東でも戦争が起きています。本当にやめてほしいと思いました。戦争からは何も生まれません。１日も早く戦争が終わり、世界の人たちが笑えるような世界になってほしいと、今日の授業で思いました。（３-１髙橋寿太朗さん）




千羽鶴を折る様子


原爆パネルに見入る様子

# アツい体育祭へ始動！

黒川中学校の体育祭は、全校生徒が１から３年生までの縦割り２軍編成としてチームを組み、東軍（赤軍)、西軍（青軍）に分かれて熱戦を繰り広げます。７月２日（木）の生徒朝会で、生徒会総務と体育祭実行委員の企画による「体育祭軍団決め」が行われました。



１年生「障害物リレー」



２年生「お洗濯日和」



３年生「借り人競走」

# 県大会激励会＆黒中生の活躍

７月８日（水)、県大会に出場する選手たちへの激励会が行われました。代表選手は、黒川中学校の代表として、さらに地区の代表としての誇りと自信を胸に、堂々とした姿を見せてくれました。また、選手代表のあいさつでは競技への目標と共に、常に支援いただいている保護者、地域の皆様への感謝を述べていました。その後は、応援委員を中心とする全校生徒による迫力ある激励応援が行われました。



全校応援

**県大会結果**

**＜特設部　水泳＞**

錦織　粋さん 200m自由形、100m背泳ぎ　予選惜敗
錦織　瑛さん 200m個人ﾒﾄﾞﾚｰ、200m背泳ぎ　予選惜敗





**＜地域ｸﾗﾌﾞ ソフトテニス＞**

中野　大誠さん（燕スポーツ少年団）男子団体　準優勝　個人５位　北信越大会出場
中川　奈南さん（新潟 UCHINO）　女子団体　優勝　個人５位　北信越大会出場

**＜地域ｸﾗﾌﾞ　女子バレーボール＞**

榎本　美織さん（胎内ＲＩＳＥ）　１回戦惜敗





**第２２回ミズノカップ兼ジュニア選手権大会**

中野　大誠さん（燕スポーツ少年団）個人３位
中川　奈南さん（新潟 UCHINO）　個人２位

# 夏休み～9月の主な予定　夏季休業 7/27(月)～8/27(木)

７月 25 日（土）吹奏楽部サマーコンサート
７月 28 日（火）胎内市わたしの主張大会
８月 10 日（月）～14 日（金）学校無人化
８月 17 日（月）諸経費振替日
８月 25 日（火）３年生単元別整理テスト
**定期テストⅡ　３週間前**
８月 28 日（金）２学期始業式　給食なし
８月 31 日（月）スクールカウンセラー来校日
部活動停止（～９日）
**９月　１日（火）黒川大祭（生徒 振替休日）**

９月　３日（木)、４日（金）質問教室
９月　７日（月）**定期テストⅡ　１日目**
９月　８日（火）**定期テストⅡ　２日目**
９月　９日（水）フッ化物洗口、専門委員会
９月 10 日（木）全校奉仕活動（午後）
９月 15 日（火）諸経費振替日、貧血検査（2年生）
９月 18 日（金）スクールカウンセラー来校日
９月 26 日（土）**体育祭　昼食持参**
９月 28 日（月）体育祭振替休日
９月 30 日（水）全校朝会、専門委員会
食育授業（１年生）